

:: 指定管理者制度導入施設 モニタリング・シート ::

評価年月日: 令和1年7月18日

1 基本事項	
公の施設の名称	杜のホールはしもと
指定管理者の名称	公益財団法人 相模原市民文化財団
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年間)
施設設置条例の名称	相模原市立杜のホールはしもと条例
施設の設置目的	市民が音楽、演劇等の芸術文化を鑑賞することができる機会及び市民が自ら芸術文化活動を実践することができる場を提供し、もって豊かな市民文化の創造に寄与するため(相模原市立杜のホールはしもと条例第2条)
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・所在地 相模原市緑区橋本3-28-1 ・敷地面積 8,626.18㎡ ・延床面積 9,601.10㎡(うちホール専有面積 6,638.14㎡) ・構造 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 地下2階地上9階建(内ホール部分:7~9階) ・主な施設 7階 ホール(定員535人:固定席531席、車椅子席4席)、セミナールーム1 8階 多目的室(移動席200席)、練習室1~3、音楽スタジオ、セミナールーム2
施設所管課の名称	文化振興課

2 管理実績							
項目(単位)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数合計(人)	149,386	157,971	152,830	150,886	147,282	149,165	141,102
利用料金合計(円)	60,075,524	63,463,777	60,028,680	60,830,307	59,857,844	67,952,215	68,934,603
ホール貸館率(%)	81.8	88.6	80.5	81.3	86.8	82.1	90.7
多目的室貸館率(%)	98.8	98.8	99.4	99.7	98.8	98.8	98.2
練習室等貸館率(%)	97.2	98.0	98.0	97.3	97.4	97.0	96.0
ホール入場者数(人)	78,032	85,979	77,362	78,888	76,619	79,505	77,561

3 成果指標の達成度	
指標名(%)	ホール及び多目的室の平均利用率
指標式と指標の説明	施設が利用されることにより、市民の鑑賞機会や活動機会が増加し、市民の文化活動が推進されるため、(利用日数・利用可能日数)にて算出された対象施設の利用率の平均を成果指標とする。

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値(%)			89.5	90.0	90.0	90.5	90.5
実績値(%)	90.3	93.7	90.0	90.5	92.8	90.5	94.5
達成度(%)			100.6	100.6	103.1	100.0	104.4

指標名(人)	自主文化事業の入場者数(人)
指標式と指標の説明	施設において、多くの市民に文化芸術に触れる機会を提供することにより、文化を身近に感じる環境づくりが推進されるため、指定管理者が自主的に行う文化事業の入場者数を成果指標とする。

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値(人)			8,280	8,460	8,645	8,830	9,015
実績値(人)	7,990	9,743	11,868	14,702	13,834	15,529	15,871
達成度(%)			143.3	173.8	160.0	175.9	176.1

施設の設置目的や施策の達成度を客観的に評価するため、指定管理者の募集において示した成果指標。

4 評価		
指標名(単位)	評価	コメント
施設の設置目的の達成度	S	成果指標については、ホールの平均利用率が85.0%で達成度111.8%である。杜のホールはしもとは利用率が高い水準にある中で目標を達成しており、城山文化ホールも目標を大きく上回り達成となっている。自主文化事業の入場者数については20,586人で達成率210.1%である。いずれも高い水準で目標を達成している。
事業・業務の履行状況	S	施設の地域性、設置目的やグルーピングについて十分理解し、杜のホールはしもとではジャズやクラシックなど音響効果を生かしたプログラムを、もみじホール城山では地元のNPO法人との共催、寄席やホールのピアノ演奏体験などの事業を展開した。
利用者満足度の向上度	A	施設利用者アンケート結果及び事業アンケート結果に基づき、利用者の満足度を検証した。 施設利用者アンケートではアンケート項目の総回答件数(1,861件)のうち95.8%が「よい」又は「ふつう」と回答し、達成度は106.4%であった。また、事業アンケートも総回答件数(2,072件)のうち、98.7%が「満足」又は「ほぼ満足」と回答し、達成度109.7%であり、施設利用者アンケート、事業アンケートがともに目標値90%を超えている。
財務状況の適正性	S	平成30年度決算における収支はプラスになっており、本体の経営状況に特段の課題はみられない。

【施設の設置目的の達成度】の評価基準

モニタリングシート(3 成果指標の達成度)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S:当該年度の達成度が110%以上
- A:当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B:当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C:当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D:当該年度の達成度が80%未満

【事業・業務の履行状況】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式1)における“評価”の内容について、次の基準により評価する。

- S:全ての評価項目に「 」または「 」が付き、「 」の数が評価項目の総数の3分の2以上である。
- A:全ての評価項目に「 」または「 」が付き、「 」の数が評価項目の総数の3分の2未満である。
- B:全ての評価項目が「 」である。
- C:「 」と「 」のどちらもつかない項目が1つある。
- D:「 」と「 」のどちらもつかない項目が2以上ある。

【利用者満足度の向上度】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式2)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S:当該年度の達成度が110%以上
- A:当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B:当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C:当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D:当該年度の達成度が80%未満

【財務状況の適正性】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式3)における“3 指定管理者の団体本体の経営状況”の内容について、次の基準により評価する。

- S:評価対象年度の決算において、収入が支出を上回っており、かつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - A:評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(収支が一致している。予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - B:評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っているが(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - C:評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っている(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、または選考委員会による意見として本体の経営状況に「若干の懸念がある」とされた場合
 - D:評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行って(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「重大な懸念がある」とされた場合
- 「財務状況の適正性」の項目については、グループ全体としての評価とする。(複数の施設をグルーピングしている場合のみ)

客観的評価として以上の基準によりS～Dを判定し、選考委員会の意見を踏まえて調整することも可能とする。

5 施設所管課による総合評価

コメント	<p>・事業計画書に基づき、両施設ともに良好な運営を行い、2施設ともに平成26年度から連続して平均利用率、自主文化事業の入場者数の目標値を上回る実績をあげた。特に城山文化ホールが5年間を通して大きく伸びたことは、ホールの知名度を高め、地域にとって利用しやすい身近な施設となるための取組の成果と言える。</p> <p>・自主文化事業については各施設の特性を活かし、子供向けや家族向けなどを含む幅広いジャンルや施設間で連携した事業や参加型の事業、積極的なアウトリーチの展開を行い、市民が文化芸術に触れる機会を提供する地域の文化活動の拠点としての役割を担った。</p>
------	---

6 指定管理者選考委員会による評価

評価実施日	7月18日
コメント	<p>・いずれの施設も高い貸館率を維持し、施設利用者アンケートでも良好な結果を得ている。施設の維持管理・運営については概ね良好であったと言える。城山文化ホールは、少人数の管理運営体制の中で成果指標において指定管理開始当初の想定を大幅に超える実績を上げた。</p> <p>・この5年間で両施設ともに施設特性を活かした多彩な事業展開を行い自主事業入場者を順調に増やし、地域のにぎわい創出にも積極的に参加し、地域に密着し地域住民のために貢献する文化施設としての役割を果たした。</p>